GAOT
Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人
群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」　第155号　2024年1月発行

巻　頭　言

新年のご挨拶

広報部 ニュース編集グループ グループ長
反町 拓海

皆さま、新年あけましておめでとうございます。本年も広報部ならびにニュースをよろしくお願いいたします。

昨年はコロナ禍が徐々に落ち着きを見せ、今まで通りの日常を取り戻しつつあった一年でしたが、皆さまはどんな一年だったでしょうか？対面での研修会や学会等が再開されたりやりやすくなった面や戸惑いのあった面もあったのではないでしょうか。

広報部では例年、ショッピングモール内での広報活動を行なうOTフェスタや各種イベントに参加しての広報活動が大半でしたが、それらができなくなってしまい活動への制限がたくさんありました。反対にオンラインの活用など新たな発見や時代に合わせた手段を選択できるようになった面もありました。特に昨年は高校生を対象とした広報イベントをオンラインで開催しました。夏に行なった際には参加申し込みがあり、充実した内容になりましたが、12月は参加希望の方がおらず開催に至りませんでした。若年層への広報活動は県士会だけでなく日本作業療法士会でも課題として挙げられており、高校生に留まらず、小中学生向けの広報も含めて熱量を上げて取り組んでいくべき課題として本年も活動していく予定です。また、感染状況に留意しつつ対面でのグッズ配布等の広報活動も再開できるよう検討していく予定です。

ニュースについては例年内容の変更や、より会員向けの情報を発信するにはどうしたら良いのか、外部の方への発信はどうしたら良いのかなどブラッシュアップを引き続き検討していき、より良いものを作れるよう努めてまいります。

広報部は引き続き、新しい仲間を募集しております。新たな年の新たな挑戦として、広報活動を行なってみてはいかがでしょうか。

《認知症支援領域の作業療法士向け》

夜な夜な話さないん会

主催：群馬県作業療法士会認知症支援推進グループ

2024年3月7日（木）20時～21時
会場：ZOOMオンライン

日々の認知症支援に関して最近勉強したこと
臨床を通して考えたこと悩んでいることなど話してみませんか？
この企画では、認知症に関することを誰でも自由に話すことが出来ます
（1分スピーチからでもOK·聞くだけでも大歓迎です!）
色んな方と会話（知識·経験·考え）から
新しい発見や今後の臨床などに繋げてみませんか

参加申し込み▶右記の QRコードからお申し込み下さい
群馬県作業療法士会の HPからの申し込みも可能
申し込み期限▶R6年3月3日まで
問い合わせ▶ウェルスタイル前橋訪看護ステーション笹谷朋弘
Mail：runrunrusasaya@gmail.com

群馬県作業療法士会 令和5年度第4回理事会議事録

日　時：2023年11月29日(水)19:00 ～ 20:30
Zoom使用でのリモート会議
参加者：新井、石森、今村、小此木、勝野、木村、高坂、小林、柴田、関根、高橋、都丸、長谷川、山浦、吉岡、李、唐澤(監事)、以上　17名(50音順に表記)

Ⅰ.各部議事

1.新井会長

第25回群馬県作業療法学会が盛況で開催でき、関係者に感謝申し上げます。群馬大学創基150周年記念式典に参加した。一般社団法人群馬県臨床検査技師会創立70周年記念式典には柴田副会長が代理で参加した。日本作業療法士協会48委員会2023年度第3回協会長・士会長会議には長谷川事務局長が代理で参加した。日本作業療法士協会特別表彰受賞者については今後検討していきたい。群馬県における司法領域の作業療法士については、特別担当理事を配置し、今後調査・対応などを検討していきたい。群馬県作業療法士会40周年記念式典を開催したいと考えており、2024年度に群馬県作業療法士会40周年記念式典実行委員会を発足したい。「リハビリテーションを考える議員連盟」の第8回総会には関根副会長に代理で参加していただきたい。

2.関根副会長

1)報告事項
①日本医療マネジメント学会群馬県支部学術集会周知
日　時:2024年1月28日(日)　10:00～17:00
会　場:美心会　黒沢病院　7階　美心ホール
テーマ:健康寿命の延伸を目指して
参加費:日本医療マネジメント学会 会員1,000円
非会員1,500円
【基調講演】『県民の健康寿命を延伸するために群馬県が実施していること』
【教育講演】『脳卒中診療の充実と医療安全を重視した脳神経外科医育成システム』
2)審議事項
①日本医療マネジメント学会会費について
日本医療マネジメント学会群馬支部役員を群馬県作業療法士会代表として拝命しています。生須さん→関根で受け継ぎました。先日、群馬県支部総会があり、支部長から「役員は日本医療マネジメント学会会員になってください」とお話しがありました。会員は個人会員、医師以外は年間会費7000円となります。会から拠出してよいか伺います。
審議結果:会から拠出することで承認された。財務については高橋理事と相談し処理していく。

3.福祉用具委員会[担当:柴田副会長・石森理事]

1)報告事項
①福祉用具相談支援システムおよび生活行為工夫情報事業の県士会員登録状況
令和5年11月27日時点において、福祉用具相談支援システムの登録者数は41件、相談件数は2件。生活行為工夫情報事業については、次回ニュースにて県士会員へ事業内容および群馬県作業療法士会が事業に参画した旨を周知する。
②2023年度 生活行為工夫情報事業東部ブロック座談会
令和5年10月2日に開催された、2023年度生活行為工夫情報事業東部ブロック座談会に美原記念病院石森卓矢が参加し、群馬県における福祉用具相談支援システムと生活行為工夫情報事業の運用内容を報告した。
2)審議事項:なし

4.学術部[担当:李理事・吉岡理事]

1)報告事項
①学術研究グループ(近藤グループ長)
・学術部研究グループの勉強会をこれまでに6回実施した。
・全国OT学会(沖縄)で発表する3名のスライド・ポスター作成支援、群馬県作業療法学会で発表する1名のスライド作成支援を行っている。
②学会支援グループ(野口直人グループ長)
・第25回群馬県作業療法学会の運営支援(公文書作成、HP運営、財務管理)を行った。
③機関誌編集グループ(糸井陽祐グループ長)
・2023年度の投稿論文について査読終了。
・学会誌・機関誌の校正作業を実施し印刷依頼済み。11月中旬に事務局へ納品予定。
2)検討事項:次年度学会開催日程の変更に伴い、機関誌投稿論文の査読スケジュール、機関誌編集マニュアルの修正の必要あり。他グループと連携して進めていくことになる。

5.運転と作業療法特設委員会[担当:李理事]

1)報告事項
①2023年10月28日(土)にぐんま自動車運転リハビリテーション研究会と合同で研修会を開催した.68名が参加した(対面34人,オンライン34人)。
②2023年12月2日(土)に運転と地域移動に関する都道府県士会協力者会議が開催予定。
2)審議事項:なし

6.教育部[担当:勝野理事・今村理事]

1)活動状況
会議:ブロック長会議　　コロナウイルス流行のため、メールで随時審議を実施。
11/13にzoomにてリモート会議実施。
2)報告事項
①令和5年度　現職者共通研修・選択研修・基礎ポイント研修(実施済、予定の報告)

・現職者共通研修　「職業倫理」
日時：2023/10/25　講師：長谷川事務局長
参加者28名
・現職者共通研修「作業療法における協業・後輩育成」
日時：2023/10/30　講師：都丸理事　参加者21名
・現職者共通研修　「事例報告と事例研究」
日時：2023/11/8　講師：山下OTR　参加者20名
・現職者共通研修「保健・医療・福祉における地域支援」
日時：2023/11/22　講師：山口グループ長
参加者20名
・現職者共通研修「作業療法の可能性」
日時：2024/1/10　講師：山口副会長
・現職者共通研修「日本と世界の作業療法の動向」
日時：2024/2頃　講師：新井会長
・現職者選択研修（老年期領域）
日時：2024/1/28
講師：悴田OTR、小池OTR、真塩部長、大手OTR
・基礎ポイント研修（身障）
日時：2023/10/4
講師：近藤グループ長、宇都宮先生（イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院）　参加者46名
・基礎ポイント研修（精神）
日時：2023/12/8
講師：島田先生（メンタルサポートそよかぜ病院）
②令和6年度 新人症例発表会（zoom開催）
日時：令和6年7月21日
会場：群馬医療福祉大学での対面開催を予定
統括：吉田OTR（群馬整肢療護園）
その他：抄録の書式を県学会、OT学会の書式を参考に修正した。
③出納帳について
新しい出納帳の運用を開始した。
3）審議事項：なし

7.地域作業療法推進部
［担当：高坂理事・山浦理事・吉岡理事］
1）報告事項
①地域包括ケア推進グループ（山口グループ長）
・10月19日、11月13日に定例会議を実施した。
・10月7日、8日に日本作業療法士協会主催、第2回地域支援事業会議が行われた。今回は会場が東京都となっておりハイブリット方式での開催となった。地域包括ケア推進グループからは高坂理事、山浦理事、山口がオンラインや現地対面で参加した。
・地域支援事業会議の情報を会員に発信していく目的で、協会より「ニュースレター」が配布された。群馬県士会向けに内容編集し、今後会員に向けて情報発信していく予定である。なお、この「ニュースレター」を群馬県作業療法士会HPに掲載することをお願いしたい。
・11月14日関東・信越ブロック会議が開催され高坂理事、山浦理事が参加した。
・日本作業療法士協会より、作業療法士の地域支援事業参画実態調査（OT参画実態調査）が来ている。地域局担当者と連携し、主任者に向けアンケート依頼の準備を進めている。
②認知症支援推進グループ（笹谷グループ長）
・9月21日付に「令和6年度群馬県地域医療介護総合確保計画に係る既存事業要望票」を群馬県健康福祉課へ笹谷が提出した。
・10月7日（土）に第1回目「認知症ケア資質向上のための研修会」がオンラインにて開催した。参加者60名（内OTは34名）
・10月29日。認知症の人と家族の会の「つどい」に笹谷・野村が参加した。
③精神科領域推進グループ（加藤グループ長）
・9/25、10/20にグループ会議を開催した。
・令和5年12月1日19時からハイブリッド方式で、第1回情報交歓会を実施予定である。
・自殺予防対策研修会を下記の通り開催予定である。
日時：令和6年1月21日（土）　13:00～15:30
形態：ハイブリッド
会場：群馬医療福祉大学
定員：80名
講師：小砂哲太郎氏（久里浜医療センター）、宮崎宏興氏（いねいぶる）
・ソーシャル・バスケットボールキャラバン2023-2024が下記日程で開催されることとなり、後援および広報協力等に携わる。
日時：令和6年1月27日（土）　13:00～16:00
会場：ヤマト市民体育館前橋　サブコート
④発達支援推進グループ（六本木グループ長）
・研修会企画委員会議をオンラインで11月1日に開催した。
・ブロック長会議をオンラインで9月19日、10月11日に開催した。
・『群馬県における母子保健領域への作業療法士の活用・連携に関するアンケート』を理事会メール審議後、県内35市町村の母子保健担当部署へ郵送した。（郵送作業は事務局へ依頼）
・10月26日　群馬県教育委員会から専門アドバイザー研修会の外部講師として依頼があり、吉岡理事、小澤ブロック長、河合ブロック長、六本木が出席した。県立特別支援学校の困難事例について外部専門家として助言を行った。
・11月15日19:00～21:00で第4回定期勉強会をオンラインで開催した。テーマは『読み書き障害の理解と支援～障害仮設に基づく評価とオーダーメイドのサポート～』講師は高畑　脩平氏（作業療法士・藍野大学）。参加者数79名（県士会員29名、他県士会員14名、作業療法学生7名、教員16名、理学療法士5名、言語聴覚士5名、看護師1名、非会員作業療法士2名）であった。
2）審議事項：なし

8.養成校連絡協議会[担当:小林理事・高坂理事]

1)報告事項

①令和5年10月28日(土)～29日(日)　群馬パース大学で臨床実習指導者講習会を開催した。受講者は29名であった。

②第25回群馬県作業療法学会に向け、当日の学生ボランティアを募集した。5養成校32名から協力を得られ、担当場所の配置・連絡調整を行った。

③第25回群馬県作業療法学会内10:00～11:30で、学生交流会を開催予定である。

④リハ学校協会版臨床実習指導者講習会との開催日程調整方法について

令和5年10月28日(土)～29日(日)に群馬県作業療法士会臨床実習指導者講習会とリハ学校協会臨床実習指導者講習会が同日開催となった。今後同日開催とならないよう、リハ学校協会に対し、山口副会長、高坂理事を窓口として相談していく。

2)審議事項:なし

9.広報部[担当:都丸理事]

1)報告事項

①公益事業グループ(グループ長:中澤)

・高校生を対象としたOT啓発イベントの2回目を12月26日(火)オンラインにて開催予定。県内でのコロナ、インフルエンザの流行が続いている為リーフレット配布の活動は見合わせている。感染状況に応じて随時実施を検討予定。

・前橋市のSDGsパートナーシップ団体としての登録に関して、広報部として、イベント等への参加、広報活動へのロゴの使用、SNSでの広報を検討している。今後、前橋市以外の場で前橋市のSDGsのロゴを使用してよいか確認していく。

②ニュース編集グループ(グループ長:反町)

・1月号の発行準備中。1月号で今年度は最後の発行となる。掲載記事がある場合には、1旦10日頃までにデータ送付をお願いしたい。

・ニュース担当窓口の方へもお世話になり、引き続きニュース発行へのご協力をお願いします。

③広報企画グループ(グループ長:金子)

・公益事業Gと合同で活動実施。

各部と情報を共有し必要な外部情報の収集とまとめを行う

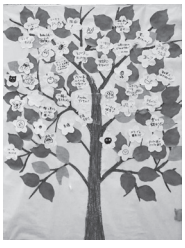
2)審議事項:なし

10.福利厚生部[担当:小此木理事、勝野理事]

1)報告事項

①RFL(リレーフォーライフぐんま)の参加について

参加は14名 。当日は「元気のなる木」 を行い、一般の RFL参加者に参加してもらった。また、 作業療法士会のポケットティッシュを配布した。



②ライフイベントに向けたアンケート

11/22(木)段階で　126名からの回答を得ている。現状取りまとめたものを県学会の　学会ブースで展示していきたい。さらに、県学会でアンケートに回答を募っていく。アンケートの結果を踏まえて、来年度の会員向けに事業を検討している。

③優秀学生賞

今年度も各養成校に対して、お願いをしていく。養成校の皆様には、今年度もメールにて、対応させていただく。

④第25回群馬県作業療法学会優秀演題賞

第25回群馬県作業療法学会の優秀演題賞に対応した。

2)審議事項:なし

11.地域局

[担当:柴田副会長・今村理事・小此木理事・山浦理事]

1)報告事項

①北中毛ブロック支部(小此木理事)

・次年度学会シンポジスト手配。

・前橋市介護認定審査会　任期途中辞退の可能性あり、後任を選定中。

・2025年度の学会長選定を進めている。

②西毛ブロック支部(山浦理事)

[群馬県作業療法学会について]

・10月10日に実行委員会を実施した。

・10月25日に機器関連のリハーサルを実行委員担当者で行った。

・11月25日に前日準備を実施し当日を迎える予定。

[医療介護連携フェスティバルin高崎について]

・9月28日寸劇(認知症に備える「人生会議」)に、老健ココンの北川OTRが参加した。

・10月31日サブコーナーの動画撮影に、認知症支援推進グループ長の笹谷OTRと山浦が参加した。

・フェスティバルは12月1日～2月28日まで、フェスティバルホームページ上で動画等の閲覧をしていただく形式。

[南牧村農業祭について]

ある企業が健康ブースを出展するに際して、県士会事務局へOTの参加要請あったが、先方の都合で県士会OTの参加はキャンセルとなった。次年度以降同様の依頼があった場合は、西毛ブロック支部で対応検討していく予定。

③東毛ブロック支部(今村理事)

・学会実行委員会を11月14日に開催した。

・太田市介護連携推進協議会　任期満了。引き続き次年度も今村で継続。

④全体

・地域作業療法推進部よりの依頼あり、市町村担当者の配置に関するアンケート回答に協力していく。

2)審議事項:なし

12.事務局[担当:長谷川事務局長・石森副事務局長]

1)報告事項

①会費減免事業の申し込み状況：10月　1件
②司法領域のOTに関する状況報告
・前橋刑務所へ電話で問い合わせ→庶務課の職員からOTは不在であるとの返答(10月20日)
・新井会長へ報告
OT協会から、「榛名女子学園」であることが判明（10月20日）
・榛名女子学園に電話で問合せ。 状況を確認して折り返したいとのこと(10月23日)
・榛名女子学園から返答。質問に回答するには書面で依頼文書をいただきたいと(10月24日)
・依頼公文書発送(10月30日)
・文書による回答あり(11月17日)
11月現在　月1回の非常勤でOTが対応している。
③県士会のインボイス対応に関して(問い合わせ対応)
臨床実習指導者研修の研修会費の領収書について、インボイス登録の有無について問い合わせあり。当会は、インボイスは非対応（消費税の納入している団体ではない）
④前橋市SDGSパートナーシップ団体として登録
山口副会長(事業局長)に申請の作業をしていただいた。今後広報部と連携して進めていただく
⑤太田市地域在宅医療・介護連携推進協議会の委員の推薦について
11月13日：太田市地域在宅医療・介護連携推進協議会の委員の推薦について連絡を受けた。任期満了に伴い、次期委員の推薦が必要。
→現任の今村理事の留任で手続きした
⑥POS連絡協議会会費支払いについて
会費：￥92,100　2022年度会員数×100円
11月13日納入済み
⑦11月25日 48協議会の出席について
長谷川、石森副事務局長(オブザーバー)が参加した。内容は、山本会長の渉外活動、協会員＝士会員の進捗状況について、市町村担当者配置事業についてが主な内容であった。
⑧日本作業療法士協会及び士会48団体連携協議会会費について
￥10,000　支払い済み
⑨南牧村作業療法士派遣要請について
南牧村のイベント開催に合わせて、作業療法士の派遣要請依頼があった。
山浦理事から人選の手配をしていただいたが、先方から都合によりキャンセル。
(先方で先に声をかけていたOTに決まったとのこと)
⇒今回は、先方から、日程が詰まっているので早急に手配をお願いしたいとの要請があったため、メールで確認し正式な依頼がない状態のまま、山浦理事へ人選をお願いした。事務局としては今後、正式な依頼を持って、各担当部署へ通知することとする。
⑩伊勢崎介護認定審査会　OT派遣について問い合わせ対応
【事象】
任期満了に伴い、認定審査員の選出に当たり、前任者の確認が行われず、新規に別のOTに依頼された経緯があり、前任者から問い合わせがあった。
問い合わせ内容としては、
1.認定審査委員については継続の意向があった。
2.任期満了であることは特に通知がなかった。
3.なぜ、他のOTに依頼がされたのか理由が知りたい
【対応】
1.については県士会事務局で把握されていなかった。
2.は任期満了の通知は県士会からは行っていない。
3.市の方からの認定審査員の選出依頼の文書であったため、地域局・ブロック支部を通じて人選を行った。
【今後の改善】
1.認定審査員の選出以来の場合は、必ず前任者を確認し問い合わせを行うこととする。(事務局)
2.認定審査員の人選についてはブロック支部で希望者を確認し対応する
2) 審議事項
①弔慰規程について
前回理事会での指摘事項をもとに弔意規程を修正した。以下の内容で良いか審議したい。
(趣旨)
第1条　この規程は、一般社団法人群馬県作業療法士会（以下「本会」という。）の弔慰について定める。
(対象)
第2条　弔慰の対象は本会の正会員、および名誉会員とする。
その他関係者、関係団体にあたっては、会長、副会長が協議し対処する。
(弔慰)
第3条　正会員が死亡した場合は、弔電に加え、供花1基または香典のいずれかをもって弔慰とする。
(支出の基準)
第4条　供花または香典については、1件につき1万円を上限とする。
(経費の支出)
第5条 経費の支出は、予備費を充てる。
(報告)
第6条　弔事等の事例が発生した場合は、関係者がすみやかに事務局に報告するものとする。
(規程の変更)
第7条　この規程は、理事会の議決がなければ変更できない。
附 則 1.この規程は、令和●年●月●日から施行する。
審議結果：弔慰規程については検討を継続していく。
②上毛新聞社　2024年紙上年賀名刺特集協賛について
上毛新聞社より新春恒例元日付け年賀特集の協賛願いがきている。
下記協賛内容について審議したい。
・紙上名刺　　44,000円（税込み）　縦60mm×横40mm

・私の年賀状　66,000円（税込み）　縦76mm×横57mm

審議結果：紙上名刺44,000円（税込み）縦60mm×横40mmを申し込むこととする。

③組織力強化を目指す各都道府県士会と協会の役員意見交換会について

【目的】組織力強化5ヵ年戦略に則り、士会－協会の課題を相互に理解し、組織力を高め　ることが最重要課題。

【情報交換・意見交換の内容】

1.新体制としてのご挨拶、組織率アンケートより協会の現状と課題

2.各地域(勤務先や養成校)における現在の課題と連携のあり方(各都道府県の工夫等)

3.その他について

【方法】ZoomによるWeb会議 (60分程度)

【意見交換間の期間】

2023年11月15日～2024年5月31日(延長の可能性あり)

【対象】都道府県士会役員と協会役員(原則として、会長・副会長1名・その他)

〈協議〉

1.日程調整・参加確認について

後日理事に、日程調整に関するメールをさせていただきます。

原則として3役＋副事務局長が出席できる日で、尚且つ参加者が最大の日で調整いたします。期日までに予定入力されたことを持って出席の意思とさせていただきます。

2.事前資料の作成　連携に向けた課題

意見交換会の際に、県士会で、各地域（勤務先や養成校）における現在の課題と連携のあり方（各都道府県の工夫等）についてまとめる必要があります。

とりまとめは事務局で行いますがよいでしょうか？

〈お願い〉

各部で、入会に向けた働きかけや、組織力強化に向けた取り組みがございましたら、具体的な活動内容をPPTに1～2枚程度にまとめていただけないでしょうか。

審議結果：上記内容について承認された。開催時期については、4月もしくは5月の開催を予定とする。

④日本作業療法士協会　代議員選挙　5名の推薦について

→現任：会長・副会長5名

〈審議〉

立候補者がいなかったので、県士会からは前回同様、3役が代議員とすることでよいか。

審議結果：3役が代議員とすることで承認された。

⑤日本作業療法士協会特別表彰推薦者について

〈審議〉

群馬県作業療法士会からは、群馬パース大学　村田先生を推薦することでよいか。

審議結果：群馬パース大学村田先生を推薦することで承認された。

〈協議〉

OT協会その他団体の表彰における人選及び、推薦にかかわる実務について、福利厚生部にお願いすることは可能でしょうか？

協議結果：福利厚生部で表彰人選リスト作成も含め検討していく。

⑥事務局パソコンの買い替え

現在、事務員がメインで使用しているPCの不調あり。メモリ増設などで対応していたが、ハードディスクのエラーなども生じている。

4年経過しているため、減価償却期間を経過。

新規に買い替えを検討している。￥150,000程度を予定。

補正予算　PC購入費￥150,000を計上してよいか。

審議結果：補正予算として承認された。

13.財務部［担当：小林理事・高橋理事］

1）報告事項

①会費未納会員に督促状を送付した。

②昨年度までの交通費の振り込みについて作業が遅れております。

12月中には行う予定です。活動費については納税が必要なため、マイナンバーと現住所が必要です。また会費が引き落としでない方は振込先も教えていただきたいので下記アドレスへ報告をお願いいたします。各部員へ周知をお願いいたします。

kumikonobox0621@gmail.com

振り込み後、源泉徴収票を作成し送付します。

2）審議事項

①財務PCの買い替え

財務部PCが会計ソフトに対応していないため、補正予算PC購入費として￥150,000を計上してよいか。

審議結果：補正予算として承認された。

IIその他

1.日本訪問リハビリテーション学術大会について報告(担当：小此木理事、都丸理事)

現在、ポスターについて検討している。学会のコンセプトは「地域創成」となった。

2.次回理事会1月31日（水）19:00～

Zoomにて実施予定とする

群馬県作業療法士会は
生活行為工夫情報事業に参画しました!

2021年度、福祉用具の活用に関する作業療法士の活用を図るため、本会では福祉用具委員会を発足しました。同年、本委員会では、県士会員の福祉用具に関する悩み・相談を解決するお手伝いをすることを目的に、日本作業療法士協会の「福祉用具相談支援システム」を導入しました。令和5年7月1日時点におきまして、利用登録者数が40名を超え、徐々にではありますが活用されてきております。

今回、群馬県作業療法士会では、新たに日本作業療法士協会の「生活行為工夫情報事業」に参加しました。生活行為工夫情報事業とは、OTが持つ「生活行為の困りごとへの支援策のノウハウ」を集約し、相互に参照できるシステムとして運用されています。具体的には「生活行為の動作において工夫した方法」、「用具の調整・整備方法」、「住環境の調整・整備方法」などの工夫事例を集約しています（詳細は右ページ参照）。

群馬県作業療法士会の皆様には、是非とも、日頃から行っている技術を形にして、生活行為工夫情報事業のシステムに登録していただきたく思います。まずは、この生活行為工夫情報事業に登録していただき、様々なOTが登録した生活行為工夫情報を閲覧いただければ幸いです。なお、すでに福祉用具相談支援システムに登録している方は生活行為工夫情報事業への登録はせずに、閲覧が可能となっております。

本事業が群馬県作業療法士会の皆様における、日々の支援のヒントなれば幸いです。

多数の皆様の参加をお待ちしています。

調理・電子レンジ操作の工夫（認知症　機械が苦手な高齢者）

電子レンジのボタンが多くて、どれを押せばよいか分からない方に対して、不要なボタンを隠す（市販品の改良）

認知症や機械音痴の高齢者の方が、電子レンジのボタンをどれを押せばよいか分からないので、不要なボタンをビニルテープなどを張って、隠すようにすることで迷わずにボタンを押して弁当などをあたためるようになった。

【利用者・家族の声】
あたたかい弁当が食べられるようになった。

工夫前の電子レンジのパネル　　不要なボタンを隠した状態

心身機能・構造の特徴		認知能力の低下など
活動・参加の制限の特徴		
工夫したポイント		電子レンジのボタンが多くて、どのボタンを押せばよいかわからずに混乱していたため、【あたため】【取り消し】ボタン以外のボタンの部分にビニルテープを張って隠した。
利用上の留意点（注意点、デメリット等）		そのほかのボタンが見えなくなるため、もし必要時があるときは押せなくなる。 同居者がおり電子レンジを兼用する場合は、プラスチックで専用パネルを作成し取り外しできるようにするなどの工夫も検討することがよい。
使用した製品	商品名（材料名）	ビニルテープ
	入手先・価格	100円ショップ・ホームセンター　100円程度
備　考		テープのみでは誤操作リスクがある場合は、段ボールなどで下地を作りマスクすると良い。

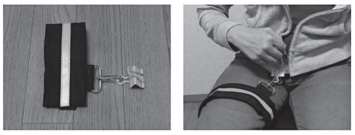
18

更衣・ファスナー操作の工夫（脳卒中　片麻痺）

上衣ファスナー操作が困難な脳卒中片麻痺患者の方に、上衣固定ベルトを用いた事例（市販品の改良）

脳卒中片麻痺患者の方が、上衣のファスナー操作時に、「左手が全く使えないので、時間がかかってしまう」と困っていたので、コーティングクリップ・カバン用ショルダーベルト・アンクルベルトで作成した上衣固定ベルトを提案・実践した結果、片手で上衣のファスナー操作が容易になった。

【利用者・家族の声】
ファスナーが閉め易くなった



心身機能・構造の特徴		片側の上肢・手指（Br.stage　左上肢Ⅴ　左手指Ⅱ）の機能障害
活動・参加の制限の特徴		上衣のファスナーを閉める動作が、一人で行うのに時間を要していた。
工夫したポイント		ファスナーの下止を、クリップ固定することで、片手でのスライダー操作が容易になった。
利用上の留意点（注意点、デメリット等）		ファスナーの下止固定位置が適正でないと、スライダー操作時に、クリップ固定が外れる可能性がある。
使用した製品	商品名（材料名）	コーティングクリップ、カバン用ショルダーベルト、アンクルベルト
	入手先・価格	100円均一店　324円
備　考		

更衣・ボタンの工夫（脳血管障害　片麻痺）

着たい服が着れずに困っている片麻痺の方にボタンを工夫した事例（市販品）

片麻痺に加え、非麻痺側の筋力低下がある人が、自分で服のボタンをとめることが出来ず困っているので、ボタンをマグネットタイプの物を用いることを提案し、当事者が実践したところ、その動作ができるようになった。

【利用者・家族の声】
「嬉しい」と言葉がありました。

マグネットボタンをつけた状態

心身機能・構造の特徴		片麻痺、感覚障害、握力の低下
活動・参加の制限の特徴		着たい服のボタンを自分でとめることが出来ず、着る機会が減っていた。
工夫したポイント		握力低下により、服のボタンをとめることが出来なかった為、マグネットのボタンをつけた。
利用上の留意点（注意点、デメリット等）		マグネットのボタンの付け方は、説明書に書かれている。ジージャンなど、厚手の服の場合は、磁石の力が効くかチェックが必要。
使用した製品	商品名（材料名）	マグネット式ボタン
	入手先・価格	手芸用品店　1,650円
備　考		片麻痺に限らず、手指の握力や巧緻性が低下しボタン操作が難しくなった方に有用。

20

更衣・靴履きの工夫（脳梗塞　片麻痺）

靴が自力で履けずに困っている脳梗塞の方に靴の踵に工夫をした事例（市販品）

脳梗塞右片麻痺の状態の人が、靴履きができず困っているので、 靴の踵の部分にリングをつけることを提案し、当事者が実践したところ、その動作ができるようになった。

【利用者・家族の声】
これがあるだけでぜんぜん違うので驚きました。

心身機能・構造の特徴		右片麻痺
活動・参加の制限の特徴		食事・排泄・入浴・更衣・整容・屋内の移動は環境が整っていれば自立できています。しかし、椅子に腰掛けた状態で、前かがみの姿勢を保って、足先に手を伸ばす動作が安定しません。
工夫したポイント		材料を購入しなくても身近にあるもので作成しました。
利用上の留意点（注意点、デメリット等）		踵部分まで手が届かない方には使用できません（延長フックなどの工夫が必要）。
使用した製品	商品名（材料名）	キーホルダーのリング
	入手先・価格	
備　考		

生活行為工夫情報事業・福祉用具相談支援システムへ登録するには、日本作業療法士協会福祉用具相談支援システムへ直接アクセスしていただくか、群馬県作業療法士会HPのお問い合わせフォームからご連絡ください。

是非システムへの登録をお願い致します。

群馬県作業療法士会ホームページ
https://gunma-ot.org/

2023年度 学生交流会が開催されました

第25回群馬県作業療法学会において、群馬県内5養成校に所属する学生を中心とした2023年度学生交流会を開催いたしました。学会長の佐藤由子先生をはじめ実行委員の皆様には、準備段階よりご協力いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて養成校連絡協議会では、2018年度より学生組織や交流会の立ち上げなどを計画し実施してきました。残念ながら例にもれずコロナ禍の影響により、しばらく実施できずにおりましたが、上記の皆様をはじめ群馬県作業療法士会皆様のご協力のおかげで、この度コロナ禍後最初の対面による開催にたどり着くことができました。

45名の参加学生は、上級生などからの学生交流会の情報共有がほとんどなかったため、以前からの交流会でのつながりが途切れてしまいましたので、今回の再開時には交流プログラムを限定せず茶話会形式で実施しました。今回の学生交流会はリスタートであり、具体的な活動はこれから協議していく段階ですが、アンケート結果も得られましたので積極的に活用して、県士会と学生にとって有意義で有機的な活動を模索していこうと考えています。

養成校連絡協議会　小林雅津良（太田医療技術専門学校）

作業療法学生向けアンケートの結果について

今後の学生交流会の在り方を検討するために、学会に参加された作業療法学生達にアンケートへの協力を依頼しました。回答者の多くは2年生でした。また、今後の交流会については、他のイベントの機会と併せ、対面形式で開催を希望される方が多い結果となりました（図1～3）。

また、交流会で取り上げてほしいテーマについては、実習、学校生活、学習など学業に関すること以外にも、バーベキューやレクリエーションなど楽しんで交流できる活動を希望されていました（図4）。

アンケート概要

【対象】県内養成校1～4年生のOT学生
【内容・方法】所属学年、参加しやすい実施形式、参加しやすい日程、取り上げてほしいテーマ、交流会を盛り上げるアイディア、交流会に対するご意見・感想についてGoogleフォームを用いて無記名で回答を得た。
【回答者数】45名

図1 所属学年

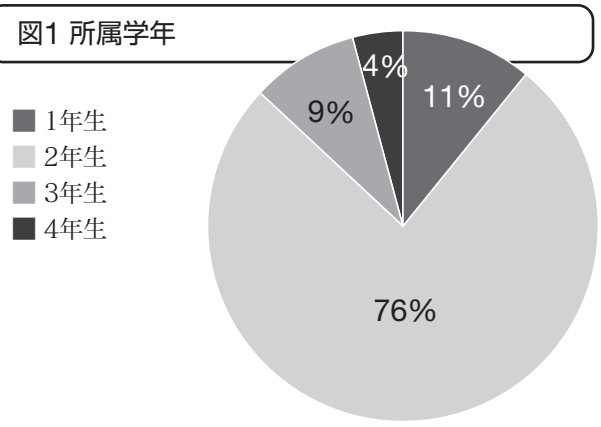


図2 参加しやすい実施形式

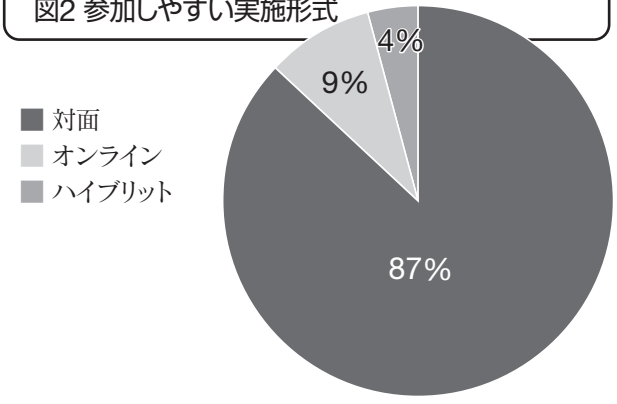


図3 参加しやすい日程

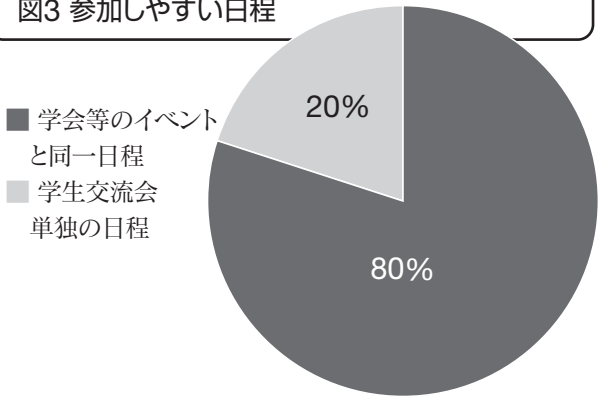
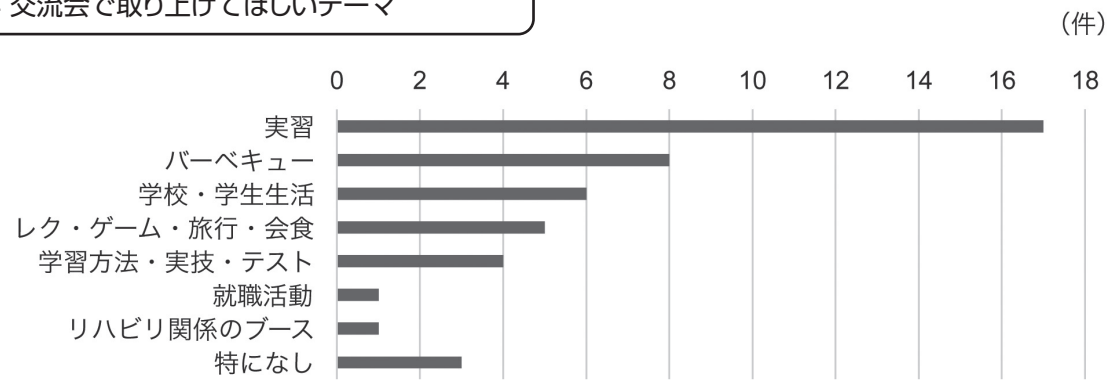


図4 交流会で取り上げてほしいテーマ



今後の交流会を盛り上げるためのアイディアについても伺いました。「このままでよい」との回答があった一方で、図4でもあったように、ゲームやレクリエーションといった楽しめる活動を挙げてくださった学生さんが多かったです（表1）。初対面ということもあり、言語を中心とした交流より何か媒体となる活動があった方が、リラックスしてコミュニケーションが取れるのかもしれません。

全体の意見・感想をみると、交流そのものを楽しんでくださった方が多かったことが窺えます（表2）。交流会の会場で運営を担当していたOTRが飛び入りで参加してくださったのを肯定的に捉えた方もいたようです。ただ、交流会のテーマや実施時間、会場などについては、更なる検討の余地がありそうです。次回以降の交流会は、より学生さん達が参加しやすいものに改善していきたいと思います。

表1　交流会を盛り上げるアイディア（主なもののみ）

◎このままでいいと思います。
◎ゲームをする。
◎クイズ大会とかやる。
◎ビンゴ、じゃんけん大会、マルバツクイズなど。
◎ボードゲームとかあると盛り上がると思う。
◎屋台をだす。
◎レクリエーション
◎みんなで話し合い。
◎学年ごとに集まる時間があるといいと思った。
◎広い教室でやりたい。
◎なんかテーマがあったら初対面の人と話題が生まれると思いました。
◎お題が予め何個かあるといいと思います。

表2　学生交流会へのご意見・ご感想（主なもののみ）

◎他の学校と交流できて、楽しかったです！
◎楽しかった。自己紹介とかしなかったのですれば良かった。同じ学校の人が隣になると他校と関わりが持ちにくいと思った。
◎様々な学生と話すことが出来て貴重な経験となりました。
◎ほかの学校の先輩方と話すことが出来て楽しかったです。
◎実習について生の声を聞けたので、これからの参考にしたい。
◎他の学校の人と話すことができ、学校の様子などを聞くことができて良い経験になりました。
◎他の学校の人や現役の作業療法士さんの話が聞けて良い体験になりました。
◎最初だと参加しづらい。
◎もっとグループを回した方がいい。
◎時間が長いと思いました。

養成校連絡協議会　高坂（群馬医療福祉大学）

施設紹介

公立藤岡総合病院

当院リハビリ室OTは部門ごとに分かれており急性期10名、回復期8名。訪問1名、外来1名の配置となっています。総合病院ですので脳外科や整形外科疾患のほか外科、循環器、腎臓内科、血液内科などほとんどの診療科から依頼がありますので急性期配置が多めになっています。急性期では、早期離床やADL再獲得のほか、手の外科医師と連携してスプリント療法、外科医師と連携して乳がん術前後の介入、循環器疾患患者への再発予防も含めた介入などを行っています。回復期では、患者の生活に合わせた社会復帰への支援を行っています。外来や訪問では、生活課題に寄り添った介入を行っています。OT全体では、高齢化社会で増える高齢夫婦世帯、単身世帯への退院支援や、ドライビングシミュレータ評価や高次脳機能評価後に教習所と連携し脳血管疾患患者へ運転再開に向けた支援を行っています。

また、今年度からワークサンプル幕張版を用いて就労評価や練習を開始しています。スタッフは、ベテランから中堅、若手と幅広い層となっています。院内の勉強会はもちろんですが全国学会への演題発表常連のスタッフもおり、患者さんのために向学心の高いスタッフが揃っています。働き方については、産休育休後に時間短縮勤務を使ったママさんスタッフが2名、時間休暇をうまく使って大学院に通うスタッフが1名おり、様々な生活スタイルに合わせた働き方にも対応している職場です。

作業療法士募集

医療法人恵愛会青木病院

当院は栃木県足利市にございます、精神科病院です。地域医療に貢献することを理念に掲げ、社会復帰施設の充実に着手しております。入院から就労支援まで切れ目のないリハビリテーションを展開しています。

■募集人員 1名
■雇用形態 常勤/非常勤
■資格 作業療法士
■勤務時間　雇用形態に応じる
■業務内容　①院内外作業療法②精神科デイケア
③就労支援等
■こんな職場　ベテランから若手までコミュニケーションがとりやすい職場です。近年、身体リハビリにも力をいれています。

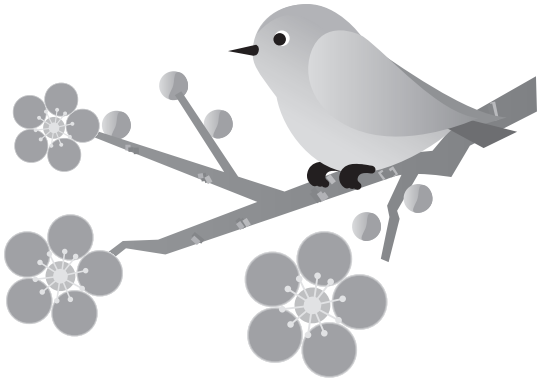
医療法人恵愛会青木病院
〒326−0808　栃木県足利市本城1丁目1560番地
☎0284-41-2213
担当:飯山(イイヤマ)・松坂

投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や日常業務で工夫している点、こんな研修会に参加した･･･などなど、皆様からの投稿を募集しております。
どんなことでも構いませんので、
お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス：koha.yuu@yahoo.ne.jp
広報部･ニュース編集グループ
反町拓海

県士会ホームページアドレス
http://www.gunma-ot.org/



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

新たな一年が始まり、様々な思いが巡っていることと思います。コロナ禍が落ち着き,以前の生活が戻りつつあり、今年は広報部としても対面での広報活動が解禁になっていけば良いなと個人的には思っています。ニュース編集としても、良いものが作っていけるよう一層の努力をしていきたいとグループ一同思っております。本年もよろしくお願いいたします。　S

群馬県作業療法士会ニュース

発 行 者 ‖ 新井　健五
発 行 所 ‖ 群馬県作業療法士会事務局　〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号　TEL･FAX 027-224-4649
編集代表 ‖ 反町 拓海　　編集委員 ‖ 関　仁紀、下田　幸、辻 千鶴子、大脇 宗雅　　印刷 ‖ 星野印刷株式会社